

# NEWS RELEASE



## 関西国際空港株式会社

経営戦略室広報グループ

TEL : 072-455-2201

FAX : 072-455-2052



KANSAI  
INTERNATIONAL  
AIRPORT  
CO., LTD.

2007年(平成19年)10月17日

## 不法侵入事案対処等訓練の実施について

～ 海からも陸からも不法侵入は許しません ～

国内外のアクセスの要である空港でのテロ対策の一環として、供用が開始された2期空港島における不法侵入事案と爆発物発見時の適切な措置手順を習得することを目的として次のとおり訓練を実施します。

### 1.実施日時

平成19年10月25日(木)午前9時30分～10時40分

### 2.場所

関西国際空港2期空港島受配電所周辺及び南側内水面

### 3.主催

関西国際空港保安委員会

### 4.参加機関

- (1) 大阪府警(関西空港警察署、大阪水上警察署)
- (2) 海上保安庁関西空港海上保安航空基地
- (3) 関西国際空港株式会社
- (4) 警備会社

この他、情報伝達訓練を実施する。訓練参加機関～大阪航空局関西空港事務所、関西国際空港危機管理官室、大阪税関関西空港税関支署、大阪入国管理局関西空港支局等12機関約100名・車両5台・舟艇3艇。

### 5.本訓練の特徴

- (1) 2期空港島において初めて実施する不法侵入事案対処・爆発物発見時の初動措置訓練である。
- (2) 海上空港で想定される海からの侵入に備え、2期空港島制限区域内に侵入した犯人の確保に加え、海上保安庁と警察が連携した不審船舶確保のための訓練を行う。
- (3) 2期空港島施設に爆弾が仕掛けられたとの想定で、防爆マットを使用した初動措置訓練を行う。

ホームページ <http://www.kansai-airport.or.jp>

## 訓練想定概要

空港の機能停止を狙ったテロリストが、2期空港島連絡誘導路南側付近から制限区域内に侵入し、誘導路南側施設の敷地内に時限式爆発物を設置した。

センサーの発報で、不審者の侵入を認知した中央警備防災センターは、警察、海保、航空局等関係機関に通報した。中央警備防災センターからの通報を受け現場付近に急行した警察官と警備員が、犯人らしき人物を発見、連携して男を確保した。

犯人を確保した施設の施設内を検索すると爆発物らしき金属製の筒が発見されたため、関空警察署員が機動隊爆発物処理班の出動を要請するとともに、一時的な措置として爆発物らしき金属製の筒を防爆マットで覆った。

一方、中央警備防災センターから通報を受け2期空港島周辺を警戒していた海上保安庁巡視艇が、2期空港島南側から内水面を北進する不審船を発見、停船を求めたが、同船はこれを無視して逃走したため、大阪水上警察署の警備艇と連携し護岸近くに追いつめ確保した。

不審船乗組員を追及した結果、同船は制限区域内施設に爆発物を設置したテロリストの出迎え用の船舶であったことが判明した。

この他、情報伝達訓練として、事案を認知した中央警備防災センターから関係機関への一斉通報及びメール配信を実施する。